

避難所用簡易間仕切システム 4
Paper Partition System 4 (PPS4)

ボランティア・アーキテクト・ネットワーク (VAN)
van@shigerubanarchitects.com 担当: 原野
c/o坂茂建築設計内
156-0043 東京都世田谷区松原5-2-4
Tel : 03-3324-6760 Fax: 03-3324-6789 担当: 渡部

避難所用簡易間仕切りシステムの必要性

仮設住宅へ移ることができるまで、避難民の方々は体育館などの大きな空間の中で家族ごとに数ヶ月間、プライバシーのない生活を余儀なくされます。しかしながら全くプライバシーのない状態では、人々は徐々に精神的にダメージを受け始め、肉体的な問題も併発する恐れがあります。

そこで我々は無償で、家族ごとに簡易間仕切りを作る活動をしています。

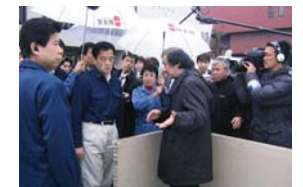
我々は2004年の新潟県中越地震や、2005年の福岡県西方沖地震の際にも同じような活動をしてきました。



避難所の様子



新潟県中越地震後の避難所用間仕切りシステム 1 (PPS1)



福岡県西方沖地震後の避難所用間仕切りシステム 2 (PPS2)

避難所用間仕切りシステム 3 (PPS3)

これまでの避難所での経験により、間仕切りシステムは次の点を考慮に入れて更に改善を重ね、右の写真のような間仕切りシステムを2006年神奈川県藤沢市の防災の日に藤沢市に対してデモンストレーションを行いました。

改善点

- ・簡単に誰でも組み立てられる。
- ・簡単に誰でも解体ができる。
- ・解体後、再利用またはリサイクルができる。
- ・安価である。
- ・十分プライバシーが確保できる。
- ・自由に開け閉めができ、開放的にもなる。

構成部材

柱・梁：再生紙 紙管

ジョイント：合板

仕切り：木綿布

筋交い：ビニール製ロープ



東日本大震災 避難所用間仕切りシステム 4 (PPS4)

今回設営する間仕切りシステムは、前回のPPS 3を更に改良し、より簡易なものとなりました。

合板のジョイントやロープでの筋交いが一切不要で、さらに短時間で簡単に組み立てられます。

仕切りの間隔も自由に調整可能です。

発注後約一週間で搬入ができます。

構成部材

柱：紙管（大）

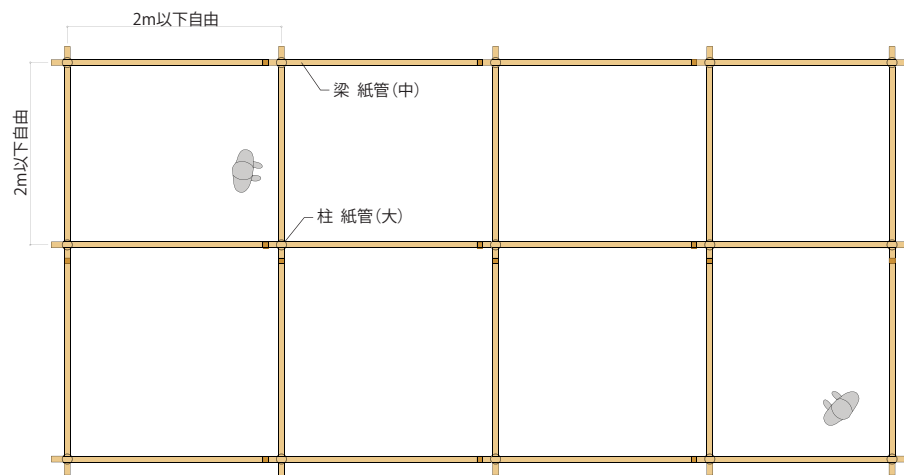
梁：紙管（中）

ジョイント：紙管（小）

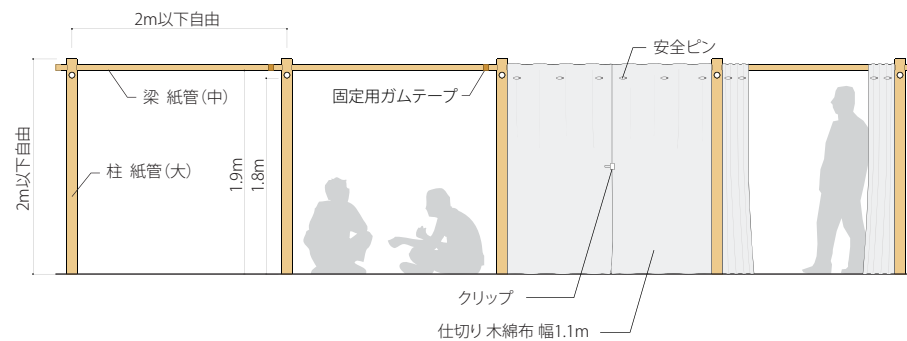
仕切り：木綿布

他：安全ピン、クリップ

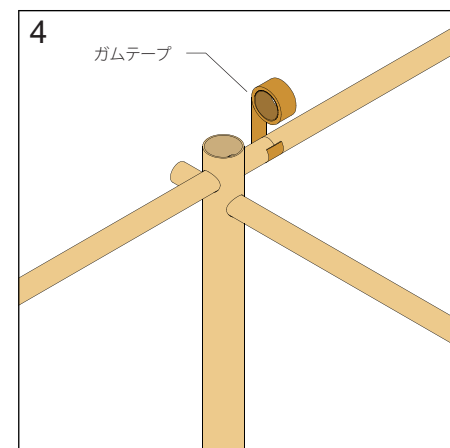
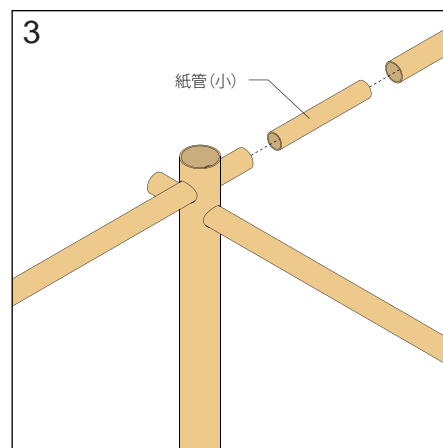
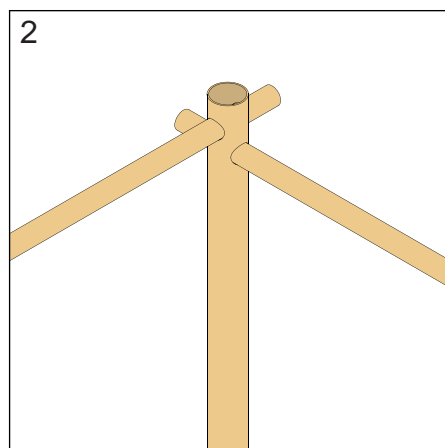
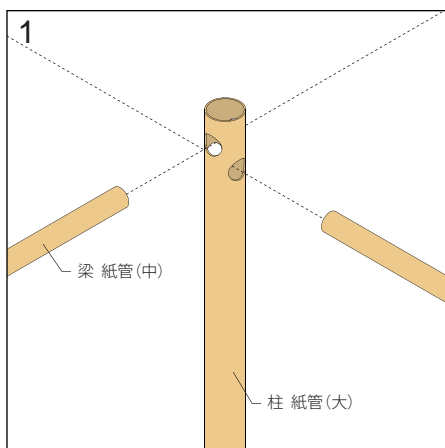




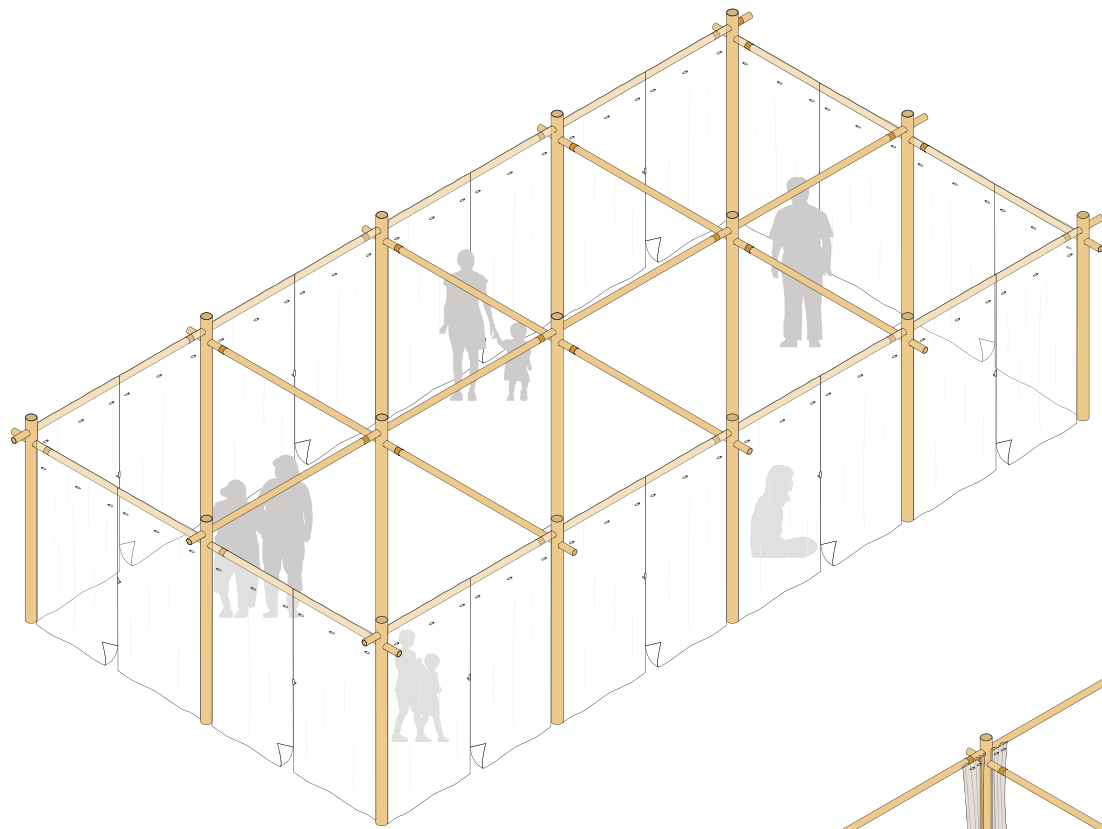
平面図



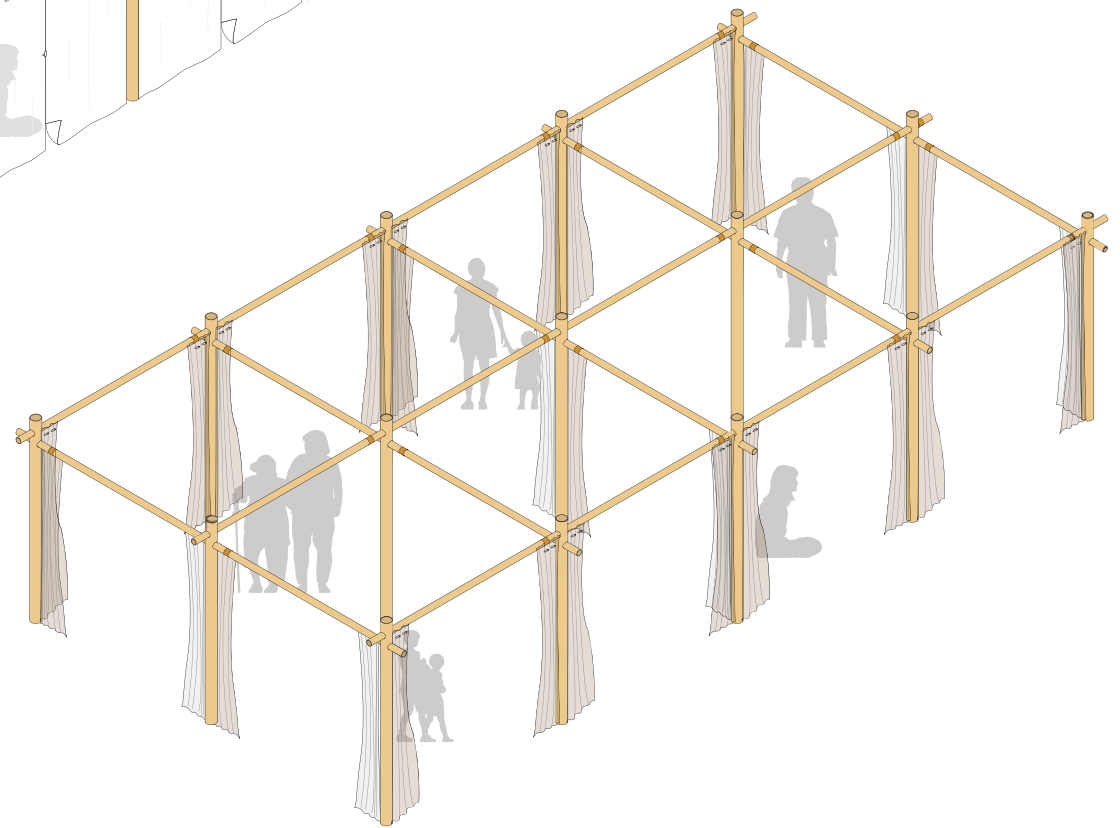
立面図



組立方法



カーテン閉切時



カーテン開放時